

『未来社会をたくましく生きる心豊かな生徒を育てるために』

龍ヶ崎市立長山中学校長 宮本 浩貴

桜が満開の中で始業式や入学式が行われ、生徒・保護者の皆様・地域の方々・教職員の笑顔があふれる中で令和8年度がスタートしました。

1年生62名、2年生66名、3年生63名、全校生徒191名で本校の教育がいよいよ動き出します。

4月のスタートにあたり、今年度の学校経営の重点についてお話しいたします。

1 生徒が財産 誰一人取り残さない魅力あふれる温かな学校づくりを進めます。

学校にとって生徒は財産です。私たち教職員はワンチームとなって、全ての生徒が活躍できる「魅力ある学校」をつくり、責任と情熱をもって指導・支援に専念してまいります。今年度はいよいよ閉校の年になります。長山中の歴史と伝統を残しつつ、北竜台学園の開校に向け「未来社会をたくましく生きる心ゆたかな生徒の育成」を目指して、教職員一丸となって教育活動にあたってまいります。

2 自ら課題を設定し、友達と協働し、課題を解決することができる生徒を育てます。

変化の早い時代と言われていています。これからの時代を生きていくためには、様々な考えや意見に触れながら、人とかかわり協力して物事を成し遂げられる力が必要になります。未来を切り拓く力を備え、自分の夢や目標に挑戦する生徒を育ててまいります。

龍ヶ崎市の教育の核である「龍の子人づくり学習」を推進しながら、探究学習や外国語活動の充実、ICTや地域資源の効果的な活用をとおして、生徒に確かな学力が身に付くよう授業改善を進めてまいります。また、学力向上の基盤は学級経営にあり、生徒一人一人に居場所がある学級づくりが重要になります。道徳の時間や学級活動等による話し合い等をとおして、よりよい集団づくりと人間関係づくりを推進してまいります。

今年度も保護者のみなさま、地域のみなさまのご理解とご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。